

立西巻き



尼崎市立立花西小学校
2026.10.20 (火)
No.22

〔校長先生つぶやき、つぶやく(校長だより)〕

人生初のパン食い競争

「人生で、まあ、なかなかこんなチャンスはめぐってこないだろうし、いっちょ走ってみようかな。」

17日土曜日は、地域開放運動会が行われました。第45回を迎えた伝統あるこの運動会は、学校の運動場や体育館を利用する地域の方やスポーツ団体の皆さんとで、楽しむイベントです。今年は、立花西小学校児童「立西っ子」もわりと多めで集まりました。学校で行われる体育大会は、日頃の体育で身に付けた内容を披露する場ですが、この運動会はイベントですので、内容もくすっと笑える、そして気楽に楽しめる競技で構成されています。でかパンリレー(大きなパンツに二人で入って、走る競技)、風船割り、最後はパン食い競争までありました。参加した先生も、小学生も、人生初のパン食い競争です。つるされたパンに手を使わず、口だけで取るのは至難の業で、にこにこしながらも悪戦苦闘する姿が観客の笑顔まで引き出す楽しい競技でした。私も小学生



以来のパン食い競争で40年ぶりといったところです。

ラストは、対抗リレーでした。何の魔が差したのか、運動場一周を全速力で走るなんて経験は、そうそうありませんので、お誘いいただき、ふと出てみようとなったわけです。当然、52歳の私には、一周は老体に鞭打つかのようで、バトンをうけとるドキドキ感や追い抜かれるくやしさがこの瞬時にやってきて、大変良い体験となりました。さすが、若手先生たちは現役です。みな、さっそうと走り、かっこよかったです。心躍る運動会となりました。ご準備くださった皆様に感謝申し上げます。

格子窓の向こう

体育館の外にある格子窓から、1年生が中をじっと覗き込んでいました。「かっこいいなあ。」「うん。かっこいい〜。」

体育館の中では、応援団の練習に励む上級生を見て、小さな1年生は、「自分もいつかあんな風になりたい」と憧れの眼差しを向けていました。



生活科室では、1年生がダンスの見せあいをしていました。

覚えた音楽とカウントにあわせて腕を大きく広げ、リズムよくステップを踏みながら、き

らり輝く笑顔まで見せてくれます。頭も体も表情もフル活用する姿に、思わず「もう十分可愛すぎるのでは」と孫を見るような目で見守ってしまいましたが、担任の先生は違います。「まだまだ、できます。」と子どもの持ちあわせた力を引き出すことに、どこまでも真剣です。踊り終えた子どもたちは、互いの良さを発表し合い、更に素敵に披露できるよう励まし合っていました。

5時間目は、2年生がタブレットを使って、ダンス動画撮影をしていました。自分の動きを画面で確認して振り返るなど、便利な機器を活用して、学びを深めています。

子どもたちの話によりますと、ご家庭でも音楽を流して、練習に励む子もいるようです。どの子も、体育大会本番までの練習を通して、ぐんぐん



力をつけています。あこがれる先輩や仲間の姿を見て、自分もかっこよく「ありたい自分」を完成させていく日々です。もうまもなく本番。どうぞ、お子様の頑張りにも耳を傾け、認め、更なる力を引き出す声掛けをお願いします。お家の方の言葉が一番の「力を生み出す魔法のふりかけ」であることは、間違いありません(*^-へ^-*)